

別記様式第3号 変更後の土地改良事業計画の概要

県営白浜地区土地改良事業（農業用排水施設（排水））変更計画概要書

1 計画変更の内容

項目	変更前	変更後	増減
地 域	熊本市西区河内町	熊本市西区河内町	
地 積	60.2ha	58.2ha	△2.0ha
主 要 工 事	農業用排水路工 L=1,174m	農業用排水路工 L=7,172m	L=5,998m
工事着手及び 完了予定時期	着手 平成 25 年度 完了 平成 29 年度	着手 平成 25 年度 完了 令和 10 年度	
総 事 業 費	384,300 千円 (うち事務費 18,300 千円)	532,350 千円 (うち事務費 25,350 千円)	148,050 千円 (うち事務費 7,050 千円)
(換 地 区)			

2 計画変更を必要とする理由

【一定地域の変更】（△2.0ha）

集水路7号の廃止に伴い、受益面積が減少した。

【主要工事計画の変更】（5,998mの増）

当初集水路の延長のみを計上していたが、水兼道路である支線道路と耕作道路、幹線道路の側溝を排水工として新たに計上したため延長増となった。

【事業費の変更】

(1) 擁壁工の追加による増（87,050千円）

詳細設計の結果、園内道路や集落道路等への接続の関係で縦断勾配や線形を見直す必要が生じ、擁壁（ブロック積）が必要となった。

(2) 測量試験費の増（29,000千円）

補償物件調査（水槽やモノレール等）や現場技術業務委託費が新たに必要となった。

(3) その他自然増等（32,000千円）

3 変更後の土地改良事業計画の概要

(1) 事業の目的

本地区は、熊本市の北西部、旧河内町の最北端と玉名市天水町との境界に位置し、県内1位の生産を誇るオレンジベルト地域の一角をなしており、みかんの生産が基幹産業である。

しかしながら、地区内には承水路や集水路がなく、樹園地の石垣の間やほ場面を直接流下、浸透しているため、法面崩壊や法面崩壊時の農地流出の恐れがある。

このことから、本地区の農業経営の効率化と安定を図るためには、農地保全の観点からも排水路の整備が必要である。

(2) 施行に係る地域の所在、地積及び現況

①地域の所在 熊本県熊本市西区河内町地内

②地積 (単位：ha)

地 目 市町村名	現 況					計 画				
	田	畑	道・水路	その他	計	田	畑	道・水路	その他	計
熊本市	()	58.2 (60.2)	()	()	58.2 (60.2)	()	58.2 (60.2)	()	()	58.2 (60.2)
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
計	()	58.2 (60.2)	()	()	58.2 (60.2)	()	58.2 (60.2)	()	()	58.2 (60.2)

上段：変更後 下段：(変更前)

③現況

1) 地形

有明海に面し、国道501号及び県道熊本玉名線に囲まれた標高2.7m～244.0m、地区の東から西へ傾斜した平均傾斜12.2°の樹園地帯である。

2) 水利状況

a 用水状況

該当なし

b 排水状況

地区内に排水施設がなく、園地の石垣の間や園地の表面を雨水が直接流下している。

3) 道路状況

該当なし

4) 営農状況

本地区では有明海に面した傾斜地のほぼ全域で温州みかんを中心とした柑橘類の栽培が盛んに行われている。

しかし、排水路がないため、法面崩壊や法面崩壊による土砂流出などにより、園地の維持に支障をきたしており、また近年のみかんの価格低迷や農業従事者の高齢化や後継者不足により、今後の営農に不安を抱える状況である。

5) 地域環境の状況

本地区は、熊本市農村環境計画の環境配慮区域に位置する樹園地帯である。

a 植物

本地区の植物は、希少種の確認はされていない。

b 動物

本地区の動物は、タヌキ・イタチ・ノウサギやスズメ・ヒヨドリ・メジロ等が生息している。しかし、希少種などは確認されていない。

c 景観

本地区は、熊本市北西部、旧河内町の最北端に位置し、有明海を望む樹園地帯である。受益地は、標高 2.7～244.0m 程度の傾斜地帯であり、旧来より石積みを築き園地を形成している。

(3) 基本計画

①要旨

本事業により、農業用排水路整備を実施することで、効率的な地域農業の確立を促進し農家経営の安定はもとより将来への優良農地の維持保全を図る。

②事業別面積

全体面積： 110.8ha (115.0ha)

農業用排水施設整備（排水）： 58.2ha (60.2ha)

③用水量及び排水量

単位排水量 $Q=0.1573 \text{ m}^3/\text{sec/ha}$ (1/10 年確率)

(4) 工事計画

農業用排水路工 $L=7,172\text{m}$ (排水トラフ・三方張・広幅水路)

※幹線道路側溝及び水兼道路の延長及び事業費を追加計上

($L=1,174\text{m}$ (排水トラフ・三方張・広幅水路))

(5) 環境との調和への配慮

本地区は、熊本市農村環境計画において環境配慮区域に設定されている。このため事業においては、現況の自然環境を十分把握し、環境への影響を緩和するよう以下の通り配慮を行う。

- ・ 工事期間中、貴重な生物が確認された場合、捕獲・採取し移植を行い生態系への影響の軽減を図る。

(6) 換地計画の要領
該当なし

(7) 費用の概算	
主要工事費	417,000 千円 (307,000 千円)
測量及び設計費	85,000 千円 (48,000 千円)
用地費及び補償費	5,000 千円 (11,000 千円)
小計	507,000 千円 (366,000 千円)
地方事務費	25,350 千円 (18,300 千円)
総事業費	532,350 千円 (384,300 千円)

(8) 事業の効果

項 目 区 分	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備考
食料の安定供給の 確保に関する効果	12,855 (7,249)	14,746 (8,421)	作物生産効果
			営農経費削減効果
	△73 (239)	218 (239)	維持管理費削減効果
			営農に係る走行経費削減効果
農業の持続的発展 に関する効果	20,853 (19,780)	20,853 (1,984)	災害防止効果
			農業労働環境改善効果
農村の振興に関する効果			一般交通費削減効果
その他	1,834 (-)		国産農産物安定供給効果
合計	35,469 (27,268)	35,817 (10,644)	令和3年度単価

総費用（現在価値）： 517,608 千円
(329,812 千円)

総便益（現在価値）： 620,187 千円
(460,814 千円)

総費用総便益比： 620,187 千円 / 517,608 千円 = 1.19
(460,814 千円 / 329,812 千円 = 1.39)

(9) 地区を数区に分けた場合は、その旨及び理由
該当なし

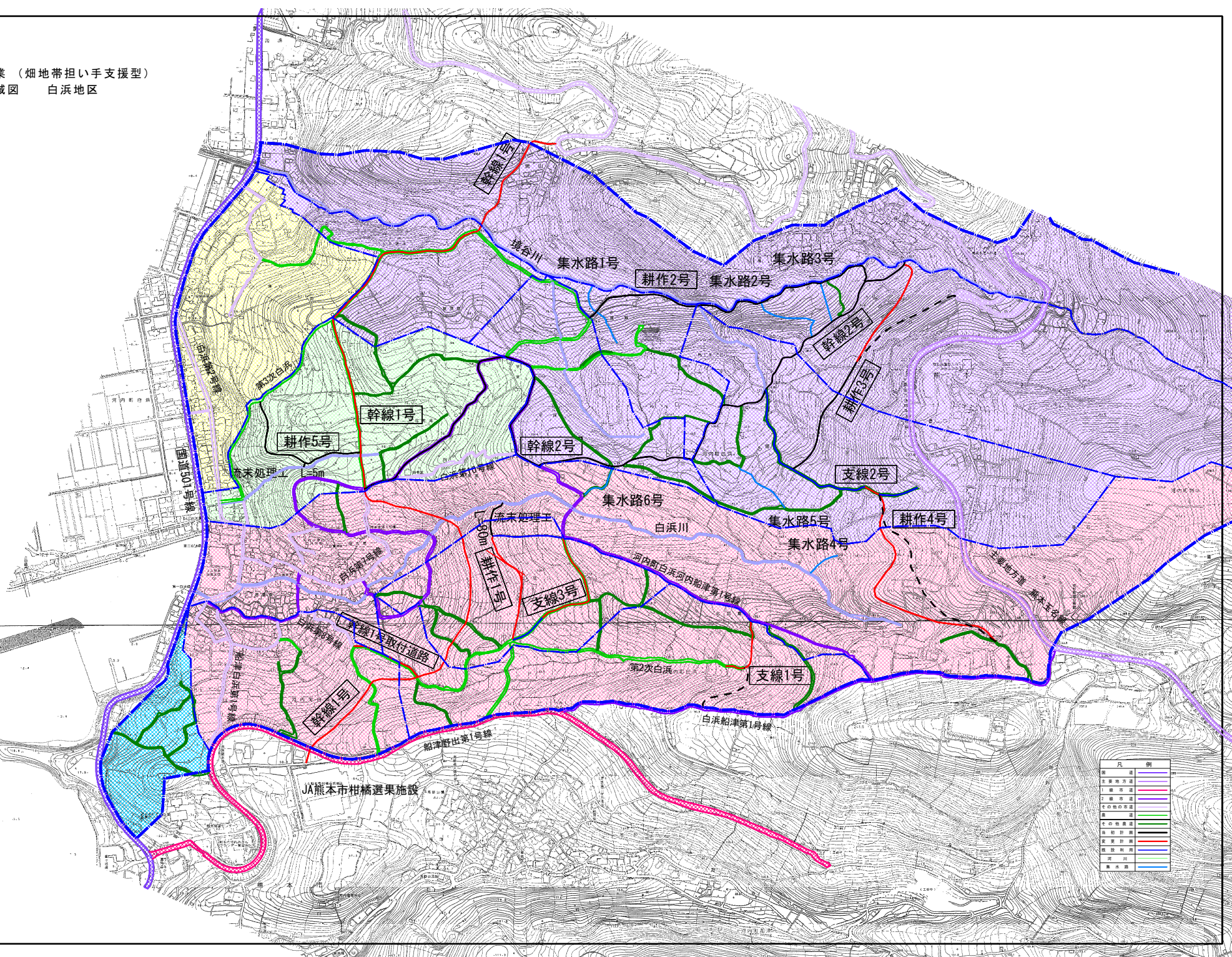
(10) 他事業との関係

- ・ 県営白浜地区土地改良事業（農業用道路）
- ・ 県営白浜地区土地改良事業（農業用排水施設）（用水）

(11) 計画概要図
別紙添付

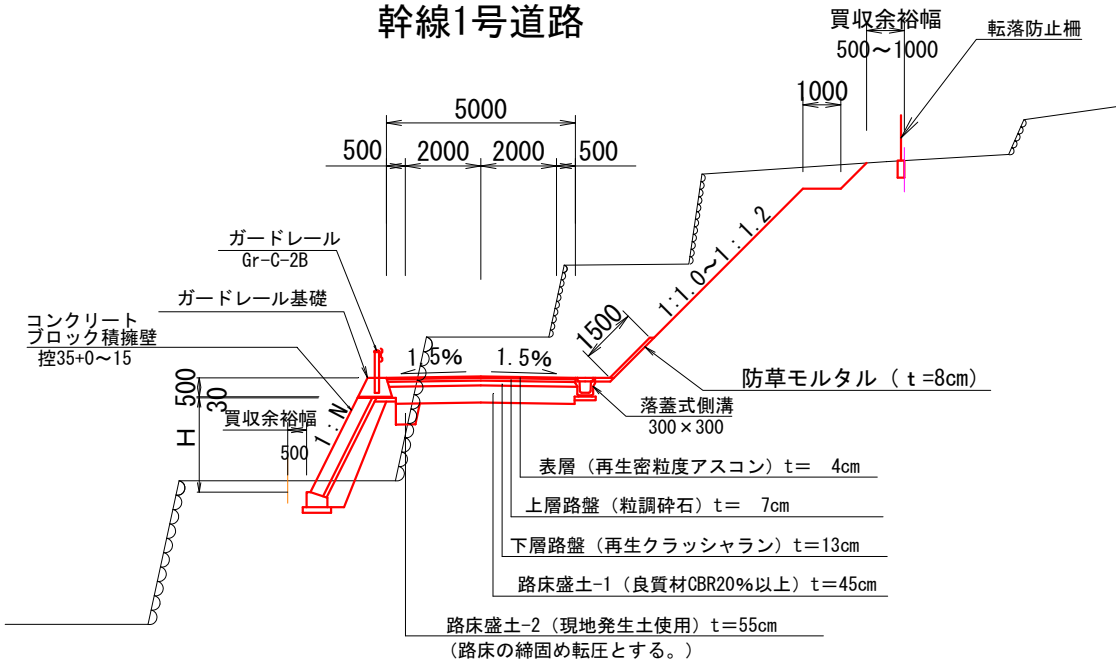
熊本県 白浜 地区 計画一般図



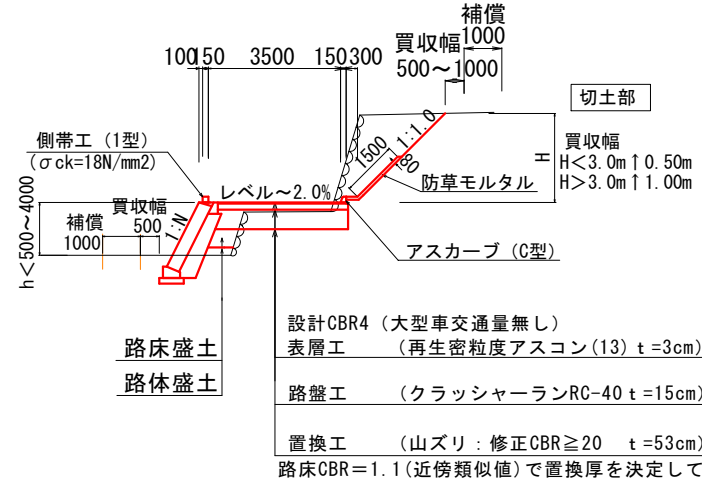


凡	例
1. 計画排水線	青
2. 集水路	赤
3. 耕作区画	黄
4. 支線	緑
5. 幹線	紫
6. 計画排水線	黒
7. 集水路	赤
8. 耕作区画	黄
9. 支線	緑
10. 幹線	紫
11. 計画排水線	青
12. 集水路	赤
13. 耕作区画	黄
14. 支線	緑
15. 幹線	紫

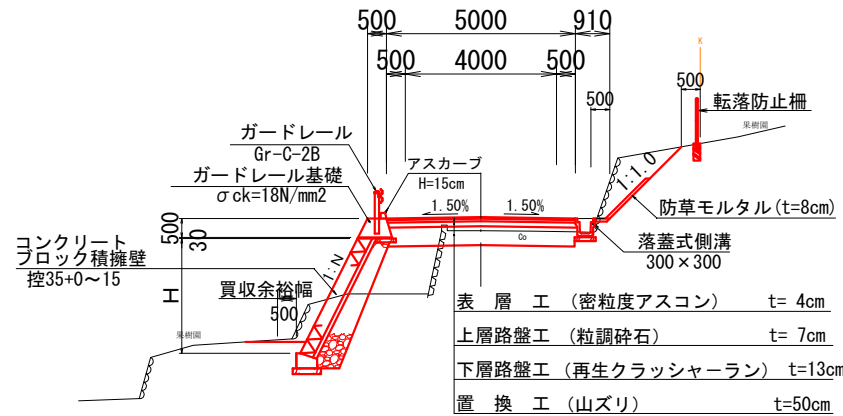
幹線1号道路



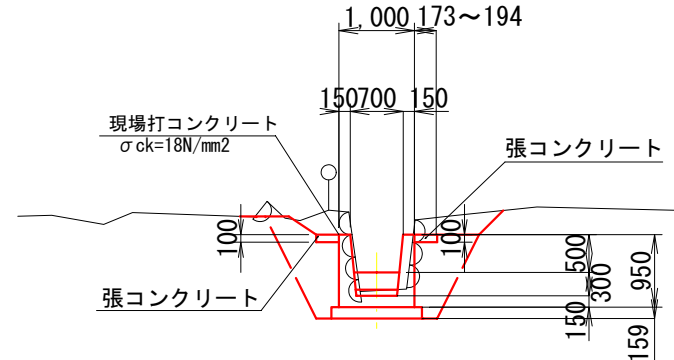
耕作1~5号道路



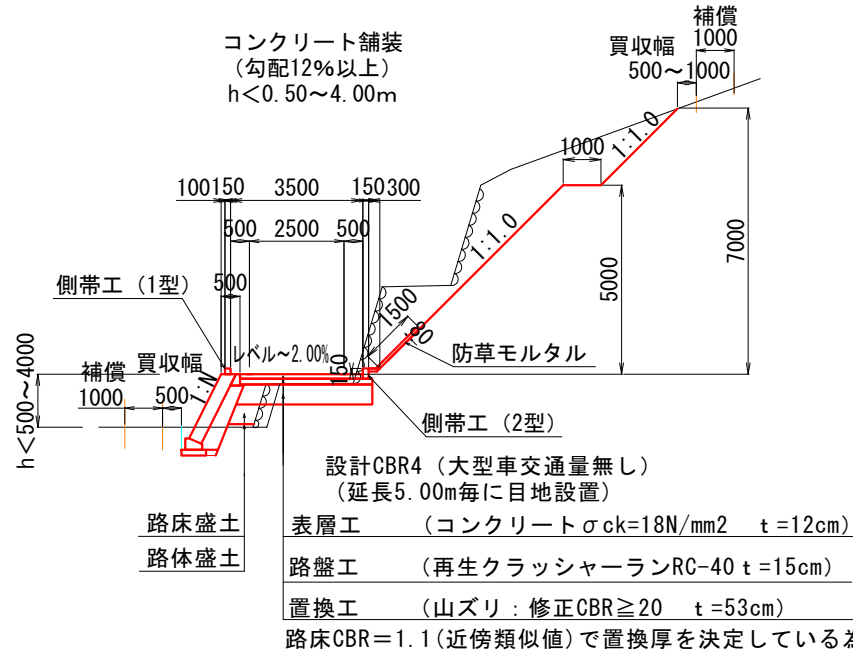
幹線2号道路



集水路1~5号



支線1, 2, 3号道路



集水路6号

